



# よ ば てんびょう 四つ葉点描

きょういくもくひょう 教育目標 「美しく生きる」



四日市市立中部中学校

令和7年6月10日

第5号

みらい み ます 未来を見て点を結ぶことはできない その2

## そう はつ 創発

あたらく あ つく  
～新しい組み合わせを創る～



みんなと同じことをやっていれば安心はするのだけれど、その中で抜け出す（1番になる）ことは難しいですね。自分から何かを始めることはリスクが大きいけれど、みんなが始めてから自分も始めるのでは、出遅れてしまいますよね。私らしさとか、個性とか、強みを発揮するとかいうけれど、そもそも自分の個性と強みがわからない人も多いのではないのでしょうか。

## たいわ 『対話』の中で自分が見えてくる



何を正しいと思い、何をあこがれとし、何を得意とするのか等、自分の考え方や個性を知ることは簡単ではありません。しかし、他人との比較の中でははっきりとわかる場合があります（比較最強！）。中部中では、『対話』を大事にしていますが、それは、『対話』を重ねることで相手のことをより知ること

とができる・・・と同時に、自分の事もわかってくるからです。

『対話』というと、「上手に話せない。」ことを理由に苦手な人もいるかもしれませんが、「相手の話をしっかりと聴く」ことが、まずは大切です。相手と自分の同じところ、違うところを比べながら聴くといいですね。

## しっぱい 『失敗』の中で自分が見えてくる

「今まで、大きな失敗をしたことがありません！」と自慢する人がいたら、私はその人のこれまでの「経験の量と質」を疑います。「失敗をしたことがない」というのは、「新しいことに挑戦せず、自分のできることだけを、ずーっとやり続けてきた」と言っているようなものだからです。初めてのことは、大抵失敗をします。失敗をするからこそ、大きな学びがありま



す。初めてのこと、苦手なことも、やり続けることで失敗は少なくなります。その時こそ、次の初めてのことに挑戦する時です。そうやって、経験を積み重ねていくと、自分の『強み』がわかってきます。

## 『弱み』を見せ合うから、『強み』が生きる



人は、『弱み』を隠したがるものです。しかし、自分の『弱み』を出すことで、他の人の『強み』を発揮させるきっかけになります。その『強み』を吸収すれば、自分の『強み』になるかもしれません。

『強み』とは、特別に上手なことではありません。少しの『強み』では、1番にはなりませんが、『強み A』と『強み B』をかけ合わせることで、

新しい『強み C』が生まれます。AやBは単独では弱いけれど、新しく生まれたCは、世の中の誰も思いつかなかった『強み』になる可能性があります。これが**創発**です。

お互いが遠慮して何も出せない時、そこに協生はありませんし、創発もない。何より、メンバーの成長は期待できません。『弱み』も『強み』も出し合える組織が、1番強いのです。

## 職場体験学習を振り返る 5月28日(水)～30日(金)



2年生の職場体験学習は、地域41か所の事業所に協力をいただきました。突撃訪問から、始まった今年の職体ですが、多くの学びがあったようです。2年生全員の「ふりかえり」を読みましたが、ほとんどの人が体験で学んだことを「粹いっぱい」に書いていました。「あいさつを含めたコミュニケーション力」と「何も言われない時に、自分から仕事を見つける力」について、多くの人が触れていました。きっと、めあてにして職体に臨んだのでしょう。これらは、意識さえすれば、学校生活の中で身に付けられる力です。つまり、日ごろの生活（ケの日）が大切ということですね。1年生にも参考となる話ではないかな。